

【10】児湯郡小体連（学校数 15 校 児童数 3,891 人）

I 年間事業

月 日（曜日）	事業名	内 容 【出会者】
5月13日（金） KIRISIMA サンマリ ンスタジアム宮崎	宮崎県小学校体育連盟 第1回評議員会 14:00～16:00	【会長・理事長 出会】 ○ 新役員の発表及びあいさつ ○ 平成27・28年度 報告・協議
5月12日（木） 高鍋高校	第1回小・中・高体連合同理事会	【会長・理事長 出会】 ○ 平成28年度の取組
6月3日（金） KIRISIMA ヤマザクラ宮崎 県総合運動公園 合宿所	宮崎県小学校体育連盟 第1回理事会・専門部会 14:00～16:00	【理事長・研究部長・事業部長出会】 ○ 事務局からの報告 ○ 理事会・専門部会
6月21日（火） 通山小学校	第1回東児湯小学校体育研究会 15:00～16:30	○ 役員・会員の自己紹介 ○ 県小体連理事会・専門部会報告 ○ 協議(事業計画 研究構想) 等
8月22日（月） 通山小学校	第2回東児湯小学校体育研究会 14:00～16:30	○ 協議(研究主題, 授業構想, 指導案検 討・体力向上地区対策協議会について) ○ 通信記録会の結果集約
8月23日（火） KIRISIMA ヤマザクラ宮崎 県総合運動公園 合宿所	宮崎県小学校体育連盟 第2回理事会・専門部会・合同研修会 10:00～16:00	【理事長・研究部長・事業部長出会】 ○ スポーツ事業委託金配付 ○ 県学体研における小学校部会指導案 検討
10月24日（月） 通山小学校	第3回東児湯小学校体育研究会 ○ 事前研究会	○ 事前研究会 ○ 協議(研究授業, 事後研究会について)
10月28日（金）	第57回宮崎県学校体育研究発表大 会	○ えびの・小林・高原地区主催 小学校部会 えびの市立飯野小学校
11月18日（金） 高鍋西小学校	第4回東児湯小学校体育研究会 ○ 研究授業 授業者（高鍋西小 中村健太教諭）	○ 研究授業 ○ 事後研究会
☆ 2月 日（ ） 通山小学校	第5回東児湯小学校体育研究会 15:00～16:30	○ 協議(本年度研究のまとめと来年度研 究の方向付け, 来年度の役員, 情報交 換)
☆ 2月14日（火） 高鍋高校	第2回小・中・高体連合同理事会	【会長・理事長 出会】 ○ 平成28年度のまとめ
☆ 2月20日（月） KIRISIMA ヤマザクラ宮崎 県総合運動公園 合宿所	宮崎県小学校体育連盟 第2回評議員会 14:00～16:00	【会長・理事長 出会】 ○ 各地区スポーツ事業報告 ○ 各地区の小体連の研究の取り組み ○ 研究発表大会のまとめ

（その他）

（☆…今後の予定）

- 新体力テストの実施
- スポーツ記録会（大会）の実施
- 体育実技研修（妻南小）

II 事業部のあゆみ

児湯郡内における児童の体力向上のために、通信水泳記録会（5、6年生児童対象）、通信陸上記録会（6年生児童対象）を実施した。

平成28年度 東児湯小学校通信水泳記録会実施計画案

1 目的

- 各学校の水泳記録会の発表の場を通して、泳力向上の意欲を高めるとともに、他校の泳力の実態を知り、高学年児童の交流を深める。

2 対象

- 東児湯管内の小学校5、6年児童

3 募集記録

- 各学年 男女別 自由形（25m・50m） 平泳ぎ（25m・50m） 4名以内
男女別 リレー（25m×4名）

4 実施方法

- 基本的に宮崎県小学校体育連盟標準記録認定要領（別紙参照）をもとに実施する。

5 応募方法

- （1）各校の記録をデータでまとめ第2回体育主任会（8月22日）にて集計する。
- （2）事業部で記録を集約し、第3回体育主任会（11月18日）で結果を報告する。
- （3）各種目、1位から3位まで表彰する。

平成28年度 東児湯小学校通信陸上記録会実施計画案

1 目的

- 各学校の陸上（50m走・ソフトボール投げ）記録会の発表の場を通して、体力向上の意欲を高めるとともに、他校の運動能力の実態を知り、高学年児童の交流を深める。

2 対象

- 東児湯管内の小学校6年児童

3 募集記録

- 男女ともに50m走とソフトボール投げの記録を測定する。

4 実施方法

（1）50m走

- 基本的に文部科学省が定めた「新体力テスト実施要項」をもとに実施する。

（2）ソフトボール投げ

- 基本的に文部科学省が定めた「新体力テスト実施要項」をもとに実施する。

- 投球のフォームは自由であるが、できるだけ「下手投げ」をしない方がよい。また、ステップして投げたほうがよい。

5 応募方法

- （1）各校の記録をデータでまとめ第2回体育主任会（8月22日）にて集計する。
- （2）事業部で記録を集約し、第3回体育主任会（11月18日）で結果を報告する。
- （3）各種目、1位から3位まで表彰する。

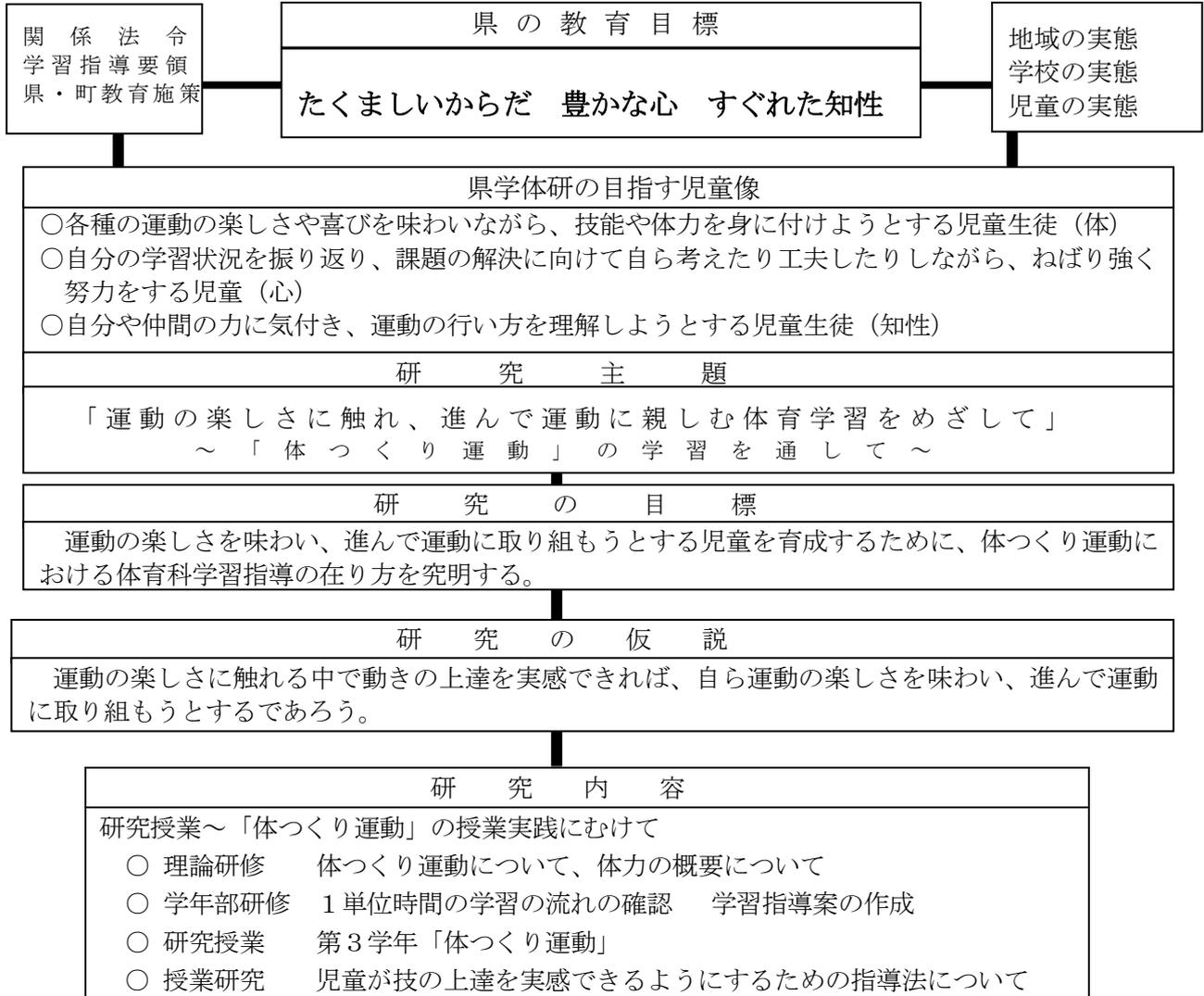
Ⅲ 研究部のあゆみ

1 研究主題

「運動の楽しさに触れ、進んで運動に親しむ体育学習を目指して」

～「体づくり運動」の学習を通して～

2 研究の全体構想



3 研究内容

(1) 理論研修

- 体づくり運動について

「体ほぐしの運動」「多様な動きをつくる運動（遊び）」「体力を高める運動」

(2) 学年部別研修

- 年計の確認等

(3) 研究授業

- 体づくり運動（多様な動きをつくる運動）

(4) 授業研究

- 動きの上達を実感できるような場や、指導の工夫について
- 児童で話し合ったり教え合ったりする活動の充実について

4 研究の実際

(1) 理論研修

○ 体づくり運動について

「多様な動きをつくる運動遊び」「多様な動きをつくる運動」「体力を高める運動」について運動のねらいや特性について研修を行った。「多様な動きをつくる運動（遊び）」「体力を高める運動」の行い方、計画と実践例の表を参考に理論を深めていった。

○ 授業研究

少人数のグループに分かれて、「体のバランス」「体の移動」「用具の操作」「力試し」「組み合わせる」のそれぞれの動きを高めるための方法と、どのような運動をどのような場で行えばよいかを考える研究を行った。また、活動がより深まったり、児童間の交流がより活発になったりするような言語活動の充実についても考えを深める研究を行った。

(2) 学年部別研修

○ 学習指導案の検討

授業実践に向けて学習指導案の検討を行った。研究仮説が実証されるような展開を考え、指導案を作成した。

(3) ゲーム化された運動を取り入れた研究授業

- ・平成28年11月18日に授業実践を通して研究仮説の検証を行った。
- ・単 元 「体づくり運動」（多様な動きをつくる運動）
- ・学 年 第3学年
- ・会 場 高鍋町立高鍋西小学校



【学習の様子①】



【学習の様子②】



【学習の様子③】

5 成果と課題

(1) 成果

- ・4種目のいろいろな動きを組み合わせる運動を、活動3分・話し合い1分・活動3分という流れで行ったことで、児童の運動量を確保しながら、児童同士のかかわりを増やすことができ、意欲的に運動に取り組む児童を育成することができた。
- ・与えられた課題に対して、児童間で話し合いながら解決の方法を導き出して実践しようとする児童の望ましい姿につなげることができた。

(2) 課題

- ・児童に話し合い活動を行わせる際、話し合う視点を与えることで、言語活動を活発にしながら、話し合いの内容を深められるような指導の工夫が必要である。
- ・運動の内容を精選することで、より学習効果が高められるようにしていく必要がある。

IV まとめ

- 様々な動きを1つ1つ教えながら自分の課題に合ったものを選択してだけでなく、ゲーム性を取り入れることで更なる意欲の向上に結びつけることができた。
- 次年度は、2年後の東児湯学体研の開催に向けて、より研究の内容を充実させる必要がある。